

静寂と快適の頂へ 進化する2つのボーズ

様々なシーンでノイズキャンセリング(NC)機能が求められていますが、高性能を求めるならボーズは最有力候補です。新製品「QuietComfort® 45」も定番イヤホン「QuietComfort® Earbuds」も、日常使いで便利な機能が進化！いま「圧倒的な静寂」がほしいなら、便利になったボーズの2製品を絶対チェックして下さい！



ノイズキャンセリングレベルが最大の「Quiet」と外音を取り込む「Aware」の切り替え、楽曲操作や音声アシスタントの起動もイヤークップの物理ボタンで行えます。



連続再生時間は最大24時間。約15分の充電で最大3時間使える急速充電にも対応しますし、万が一バッテリーが切れてもケーブルを繋げば音楽再生できます。使いたい時にすぐに使える安心の仕様です。



ノイズキャンセリングヘッドホン
(3万円以上4万円未満)

Bose ノイズキャンセリングヘッドホン QuietComfort® 45

¥39,600(税込)

SPEC ●通信方式: Bluetooth Ver.5.1 ●連続再生時間: 最大24時間 ●質量: 238g
●付属品: 充電用USB Type-Cケーブル、オーディオケーブル、キャリーケース



ボーズの歴史を代表するヘッドホンがリファイン！

VGP審査員 折原一也

遡れば40年以上前に航空機パイロット用にアクティブノイズキャンセリング(ANC)の研究をはじめた長い歴史を持つ老舗、ボーズ。そんな同社のANCヘッドホン原点「QuietComfort® headphones」の流れを汲む最新モデル「QuietComfort® 45(QC45)」が登場し、VGP 2022で金賞に輝きました。

最大の長所は高性能なANC機能の進化です。外音を取り込む「Awareモード」が追加され、ANC機能が最大になる「Quietモード」との選択が可能になりました。そもそもAwareモードは、ボーズがいち早く搭載した機能。マイク性能の向上もあってか、取り込み音も自然で好印象です。ノイズ低減効果も最上級。オンにした瞬間、エアコンなどの日常の騒音から、電車の走行音といった轟音まで大幅に

抑制され、製品名通りに快適に音楽の世界に没入できます。イヤークップなど肌に触れる部分は上質なシンセティックレザーを使うため快適さも良好なので、テレワークなど長時間装着する用途でも活躍してくれるでしょう。

サウンド体験でも、最新世代の進化が垣間見られます。ボーズのサウンドは豊かな低音が魅力のひとつですが、QC45ではJ-POPの女性ボーカルの歌声もシャープに広がりますし、イヤホンとは一味違うヘッドホンならではの音の余韻、余裕も感じられます。

最上級のノイズキャンセリング技術と快適な装着性、高音質な音楽リスニング性能。そのすべてを備えるQC45は、VGP審査員全員が自信を持って推薦する金賞受賞モデルです。

次ページは「深化する定番「QuietComfort® Earbuds」の新機能について解説！」



ノイズキャンセリング完全ワイヤレスイヤホン

Bose QuietComfort® Earbuds

¥33,000(税込)

SPEC ●通信方式: Bluetooth Ver.5.1 ●対応コーデック: SBC, AAC ●連続再生時間: 最大6時間(ケース込み18時間)
●質量: 約9.4g(イヤホン部) ●付属品: StayHear™ Maxイヤーチップ(S/M/L)、充電用USB Type-Cケーブル

新カラー、アプリが深化した ノイズキャンセリングの定番

2021年も快進撃が止まらないボーズ「QuietComfort® Earbuds」に、限定カラーと新機能が追加！
使い勝手が大幅に向上したアップデート情報を中心に、本機の魅力を解説しましょう。



ノイキャンの使い勝手が大幅に向上した

VGP審査員 折原一也

2020年10月の発売以来、圧倒的なノイズキャンセリング性能で人気を博しているロングセラーイヤホン「QuietComfort® Earbuds」(以下、QC Earbuds)。2021年9月24日に大幅な機能向上を追加したソフトウェアアップデートがリリースされ、ますますスキのないイヤホンへと深化しました。

QC Earbudsの特長は、なんといっても完全ワイヤレスイヤホンの枠を超えた強力なノイズキャンセリング性能。その効果は低周波までしっかり効いた高い性能ゆえに、外音もコントロールするという思想の下につくり込まれていました。発売時は、ノイズキャンセリングのレベルは「BOSE Music」のアプリから0から10の11段階あり、段階に応じて騒音低減と外音取り込みの割合を自分で選んでコントロールする仕様でした。そこを最新のソフトウェアでは、この最も騒音低減効果の大きいレベル10を「Quietモード」、自分の声、周囲の音や人の声が聞こえるレベル0を「Awareモード」として再定義し、ボイスメッセージでもモード切り替えを知らせるなど、わかりやすさが深化しました。

さらに「Awareモード」では、「ActiveSense™」テクノロジーという街中で不意に騒音が大きくなった時にのみ、ノイズキャンセリングレベルを引き上げる機能が追加されました。なお、選択できるモードは「リラックス」「アウトドア」などの利用シーンの名前で最大4つのモードを設定でき、引き続き11段階の外音取り込みレベルを設定できます。

QC Earbudsを装着して「Quietモード」を試してみると、さすがボーズのノイズキャンセリング技術、完全ワイヤレスイヤホンとは思えない圧倒的な静寂を実感できます。軽快なフィット感でありながら密閉性の高い「StayHear™ Maxイヤーチップ」の恩恵もあってか電車内、街中、室内、そのどこにいても快適に過ごせます。一方、「Awareモード」に切り替えれば、周囲の音が自然かつクッキリと聞こえるので安心です。

筆者がテレワークの環境用にカスタマイズしてみた「ホーム」の設定は、ノイズキャンセリングを4段階目に設定すると、音楽を聴きながら来客のインターホンの音も聞こえるバランスになりました。モード切り替えは、イヤホン単体でも左イヤホン2回タップすれば完了。QC Earbudsは通話用マイクのノイズ低減も優秀なので、PCと接続してテレワーク用デバイスとしても、ますます実用性を高めています。

もちろんサウンドも優秀です。J-POPの歌声も伸びやかでクリアで躍動感溢れるサウンドですし、重低音のリズム感も小音量で聴いてもパワフル。音楽ファンも納得の高音質モデルです。

他にも低音、中音、高音を調整できるイコライザーの追加やワンタップでSpotifyと連携できる機能など、利便性を高めたQC Earbuds。限定カラーが2色追加され、2021年モデルとして改めてますます魅力的な存在となっています。ノイキャンモデルの定番として是非とも一度体験してほしいモデルです。

CHECK POINT

より使いやすく、より直感的に深化した“アプリ”

1 騒音に合わせて取り込む音を自動で調整

QC Earbudsは、「ActiveSense™」という、騒音量に応じてAwareモード時のノイズキャンセリングレベルを自動調整する機能が追加されました。幹線道路沿いなどの大きなノイズがある環境で試しましたが、外音は確かに聞こつつも、走行音など大きな音だけが少し小さくなる印象。これも高性能マイクと高い演算処理技術のなせる技です。

2 ノイキャンがシンプルに

従来のファームウェアでは「お気に入り」として、ノイズキャンセリングのレベルを自分で設定できましたが、より直感的に操作できるように「モード名」に変更されました。各モードは任意でノイズキャンセリングレベルを設定できます。また変更時にモード名を読み上げるので、どのモードに変更したのか瞬時に判断できるためとても便利です。

3 イコライザーが追加

高音、中音、低音の3つの帯域別に調整できるイコライザー機能も追加されました。4種のプリセットもありますが、それぞれプラス・マイナス8段階まで変更でき、音の変化量も大きめ。低域重視にすればブーミーになりすぎず、ほどよく低域をプッシュしてくれますし、カリッとした音が好みなら高域を持ち上げるなど近づけることができます。

4 Spotifyをワンタップで

Spotifyの音楽が自動再生される「Spotify Tap」にも対応します。左耳を長押しすると、自分の好みに近い曲が自動再生されますので、SpotifyユーザーならBOSE Musicアプリで設定すれば利用可能です。レコメンドされる曲は、自分のSpotifyの利用履歴に合わせて再生されますので、知らなかった好みの楽曲を発見する楽しさがあります。